

自己分析をしよう より 井田晃記

12月1日から、2015年の就職活動が始まる。

- ① 自己分析を行いE.S記入の準備を
- ② 業界・企業研究を進める
- ③ 自宅のPCインターネット環境を整える

* 本掲示板 就職活動 資料 「2. 就活のための準備について」も確認のこと。

読 宣 衆 産

(第3種郵便物認可)

就活 ON!

毎週火曜掲載

3年生 事前準備

Topics トピックス

就職活動の本格化を前にやるべきことや心構えを伝えるのを目的に、駒沢大学(東京都世田谷区)では現在、3年生向けの就活対策セミナーを集中的に実施しています。10月下旬に開かれたセミナーには約170人が参加し、熱心に耳を傾けました。このセミナーの講師を務める人事コンサルタントの沢本和重さんは、「12月になる前に早めに準備を」とアドバイスします。

企業の多くはインターネット上で学生の登録を受け付けていますが、企業説明会への参加者を選抜するため、登録時にエントリーシート(E.S.)の提出を求めるケースもあります。多くの企業が共通して尋ねる「自己PR」などに関する内容は、今のうちに書く内容を

12月1日から、2015年卒の就職活動が本格的に始まります。企業の説明会や書類選考開始を前に、大学3年生に向けたアドバイスをもてみました。(山田睦子)

就活活動の本格化を前にやるべきことや心構えを伝えるのを目的に、駒沢大学(東京都世田谷区)では現在、3年生向けの就活対策セミナーを集中的に実施しています。10月下旬に開かれたセミナーには約170人が参加し、熱心に耳を傾けました。このセミナーの講師を務める人事コンサルタントの沢本和重さんは、「12月になる前に早めに準備を」とアドバイスします。

駒沢大学で開かれた3年生対象の就活対策セミナー(東京都世田谷区で)



就活本格化を前にしておきたいこと (専門家のアドバイスをもとに作成)

業界・企業研究を進める

企業説明会の日程が重なった場合に、どの業界のどの企業の説明会に行くか判断できるようにしておく



自己分析を行い、エントリーシート記入の準備を

企業への登録や説明会が始まると、ゆっくりと考える時間を取りにくくなる。早いうちに準備を。どのような働き方をしたいかも明確にしておく



自宅のパソコンのインターネット環境を整える

ネット経由でエントリーシートを提出する場合、スマートフォンよりもパソコンの方が記入に便利。ネット上で企業説明会が行われることもある



早めに自己分析を

年末年始の休暇や大学の後期試験があり、実際に動ける期間は限られます。希望する複数の企業の説明会が、同じ日の同じ時間に行われるケースも出てくるでしょう。その際、どの企業の説明会に参加するか、決断を迫られることとなります。「自分が本当に行きたい業界なのかどうか。その企業が業界の中でどんな特徴を持っているのか。それらを理解していないと判断するのは、就活活動は社会に出るためのステップです。今のうちにできるだけ準備をし、着実に最初の一步を踏み出しましょう。」

川泰正さんは「大企業しか受けない、事務職しか志望しないなど、最初から活動範囲を限定している学生は、失敗した場合に立て直しが遅れ、就職活動が長引きやすい。選択肢を広く持つことが大切」と言います。

を固めておきたいものです。自己PRを書くには、自己分析が必要です。沢本さんは、「強みだけでなく、過去の挫折経験や弱点、苦手なことを紙に書いて整理すると良い。失敗を乗り越えた経験は企業へのアピールポイントになるし、文章にしておけば、E.S.の内容を大学職員などに相談

する際もスムーズに話がしやすい」と話しています。

選択肢を広く

「まだ何も手をつけていない人は、業界研究をしながら、自己分析を」と勧めるのは、就職情報サイト「リクナビ」の岡崎仁美編集長です。

は難しい」と岡崎さんは指摘します。

2015年卒の採用動向に関して言うと、景況感は良くなっていますが、必ずしも採用のハードルが低くなっているわけではありません。企業が求めるのは仕事を遂行する力や意欲の高い学生であり、中小企業も含め、そうした素養を持つ外国人留学生に関心を寄せる企業が増えています。

就職情報会社「エヌ・ジャパン」の小山